



### 新年の御挨拶

2015年を迎え、「たらちね」は4年目の活動に入りました。原発事故の被害は、ますます拡大し、山や川や大地だけでなく、海の汚染も取り返しのつかない深刻な状況になっております。また、健康被害が身近に迫ってきていることも、福島県内の甲状腺疾患の子どもの数の増加から、はっきりとわかります。100年後の時代に、この同じ痛みを再び繰り返すことのないよう「たらちね」は活動してまいりたいと思います。「廃炉まで50年かかる」という国の見通しから見えてくる子どもたちの肩ののった大きな負担・・・それを、少しでも減らせるよう、2015年も日々、研鑽し過してまいりたいと思います。4月からはベータ線放射核種である、ストロンチウム90とトリチウムの測定の依頼も受け付ける予定です。本年も、御支援者のみなさまの暖かい御心と御力添えを頼りに進んでまいりたいと思います。どうか、応援をよろしくお願い申し上げます。

2015年1月吉日

NP0法人いわき放射能市民測定室「たらちね」 理事・スタッフ一同より



### 12月21日：白石草講演会&たらちね報告会を行いました



2014年12月21日（日）13:30～

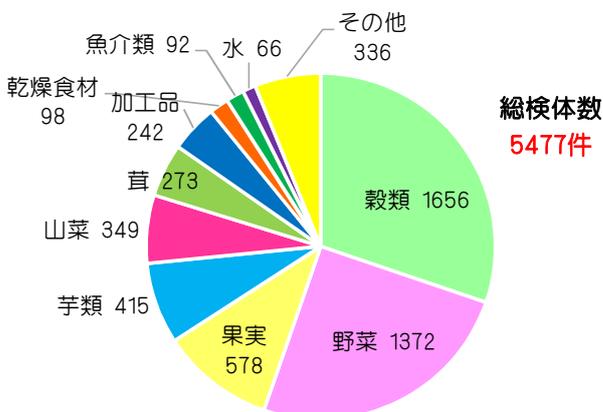
アウプラネット TV代表の白石草さんをお招きして「チェルノブイリをご存知ですか？30年後の福島をしるために」と題した講演会を行いました。自分たちに今、何ができて、何を行うべきかをチェルノブイリの今を取材されてきた白石草さんのお話を映像を交えながら伺いました。

報告会ではガンマ線測定、甲状腺検診結果などの報告やベータ線測定ラボの開所に伴い、何故ベータ線測定が必要か？各担当者による報告も致しました。一部抜粋してお知らせいたします。（後日、ホームページでも閲覧できるように致します）



### 食材測定報告

#### 2011年11月～2014年11月 食材検体内訳



2011年の開所当時からの食材検体数は5477件となりました。

毎食食べる穀類の測定が一番多く、1656件の測定を致しました。

次いで野菜が1372件。いわき市内はご自分で畑をお持ちになっいて自分達で食べる物は自分達で作るという方も多くいらっしゃいます。果実、山菜類などは数値が出るのは分かっているけど、昨年と比べどのくらい減っているのか数値の変化を知りたいという目的で測定依頼される方もいらっしゃいました。

#### 2012年1月～2014年11月まで 月別ホールボディカウンター被験者数



### 内部被曝測定報告

2012年4月以降、測定にいらっしゃる方は減少傾向にあります。

18歳以下は無料、19歳以上は1,000円となっております。

毎月測定を条件に年間1,000円というお得なプランもございます。

チェルノブイリ事故数年後に内部被曝が続出したという事例も

ありますので、定期的な測定をお勧めいたします。

## 検診場所と回数

場所	回数	人数	場所	回数	人数
いわき市	13回	645名	会津地方	4回	131名
伊達市	4回	222名	二本松市	2回	102名
須賀川市	3回	204名	田村郡	2回	89名
郡山市	4回	196名	本宮市	2回	82名
福島市	4回	195名	白河市	1回	54名
宮城県丸森町	2回	187名	矢祭町	1回	26名

2014年1月～11月までの結果です。

検診回数は42回、2133名の方が受検されました。内18歳未満のお子様は1073名でした。

場所によって検診回数が違いますが、空間線量の高い地域ほど関心が強く、お子様だけではなく同伴の保護者の方も受検されたり、定期的に受検される方も少なくありませんでした。

甲状腺検診は事故当時18歳未満の方は無料、その他の方は1,000円となっております。一年に一回の受検をお勧めいたします。

## β線測定ラボ

### β線放射能測定ラボ開設の趣意

ベータ線放出核種はアルファ線放出核種と同様、内部被ばくの影響が大きい。たらちねではトリチウムとストロンチウム90を測定。

- ・市民・住民からの測定依頼を優先する
- ・測定データはHPなどで公開する
- ・試料を受け付けてから1～3日で測定を行い結果を出す
- ・基本的にスクリーニング法での測定とするが、精密測定も行う
- ・測定装置などの維持費が安い、環境負荷の少ない測定法を採用する

たらちねベータラボは助成金、善意の市民や企業からの寄付 たらちね会員の会費などで整備・運営されています

参考:人員の体制について  
 専門家顧問3名(内テクニカルアドバイザー兼任1名)  
 担当2名

### ストロンチウム90測定の目的

セシウムやヨウ素等と並んで、原発事故で飛散された主な放射性核種にストロンチウム90があります。

ストロンチウム90とカルシウムは化学的性質が類似しており、体内で骨に蓄積されて、がん等を引き起こす恐れがあります。

しかしガンマ線を発するセシウムに対して、ストロンチウム90ベータ線しか発しません。

現在、福島県に普及しているゲルマニウム半導体検出器はガンマ線測定器なのでベータ線核種のストロンチウム90測定は不可能です。

そこでたらちねでは、高感度の放射能測定器である液体シンチレーションカウンターを導入しました。

## NEWS

### ★ 甲状腺検診のお知らせ

1月25日(日) 10:00～13:00

場所：たらちね検診センター（たらちね内）

担当医：須田道雄先生 島根県須田医院院長 内分泌・甲状腺専門



1月31日(土) 10:00～16:00

場所：郡山市安積総合学習センター（郡山市安積町荒井字南赤坂265）

担当医：西尾正道先生 北海道がんセンター名誉院長

### ★ 沖縄・球美の里参加者、ボランティア募集

第39次 2015年2月9日～2月18日 申込1/13まで ※定員になり次第受付終了

第40次 2015年3月3日～3月12日 申込2/5まで ※定員になり次第受付終了

対象者：福島県在住および近隣県に在住の0歳～15歳(中学3年生)

※未就学児(幼稚園以下)は、母親の付添いをお願いいたします



### ★ 会員募集

正会員 一口 12,000円

(お1人で複数口のお支払いも受け付けております)

賛助会員 一口 3,000円

子どもの未来といのちを守り育てるため、私たち「たらちね」と共に歩み、その活動にお力添えをくださいますようお願い申し上げます。

NPO法人 いわき放射能市民測定室 たらちね

〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町11-3 カネマンビル3F

TEL/FAX 0246-92-2526 メールアドレス tarachine@bz04.plala.or.jp

HP <http://www.iwakisokuteishitu.com/>

